令和８年度　授業改善推進プラン（課題分析と授業改善策）　　学校番号１８　練馬区立石神井中学校

	課題分析	授業改善策
国語	「自分は、主体的に学習に取り組んでいる」に対して「あまり思わない」と感じている生徒がどの学年にもいる。学習内容や指導内容において、生徒がより主体的に学習に取り組めるように工夫をする。	授業中での班活動などをさらに充実させ、生徒の「思考・判断・表現」の伸長を図る。また、小テストや振り返りなどで学習内容の理解度・定着度を測り、「何ができたか」「何ができなかったか」「次にどうするか」を自分で考え、次の学習につなげていく取組を行う。
社会	アンケート結果から「自分は、主体的に学習活動に取り組んでいる」というというに関しては肯定的な回答が多いものの、「自分は、授業内容について理解している」という問いに対しては「あまり思わない」の意見も一部見られた。	授業のねらいを明確に伝えて話合い活動などをさらに充実させ、主体的に取り組む姿勢をさらに伸ばしていく。また、ICT を活用し知識の定着を図りつつ、小テストやワークなどの取組を増やし、知識や技能を振り返り確認する機会を設ける。
数学	アンケートの結果から授業のねらいや指示が明確に伝わってない生徒が一定数いることがわかった。また、学力調査の結果から、考え方の根拠を説明する問題の正答率が低いことがわかった。	授業の導入部分で、ねらいをわかりやすく伝え、机間指導等で、フォローする。また、常に考えの根拠を持つように指導し、答えだけでなく、考え方を問うような発問を取り入れる。
理科	アンケートの結果から、学習のねらい(目標)が明確に伝わっていなかったり、評価方法についての理解が不十分であったりする生徒がいることがわかった。また、２・３年生では授業内容を十分に理解ができていない生徒の割合が高かった。	授業のねらいを掲示(板書)するなど明確になるようにし、授業内容の理解が深まるようにする。評価については、単元ごとの評価方法について説明を行う。また、反復演習を重ねることにより、知識・技能の定着を図る。
音楽	アンケート結果から、評価方法についての理解が不十分な生徒の割合が多いことがわかった。 鑑賞のワークシートでどのようなことが感じ取れるかという質問にどう答えていいかわからないという生徒がいた。	評価基準については実技テストなどの際に、わかりやすく説明する。 鑑賞の課題では、解答の方法について具体例を出して説明する。
美術	アンケートから、学習のねらい（目標）を理解できていない生徒が若干名いることがわかった。また定期考査の結果から、色彩等の基礎的な内容が理解できていない生徒が一定数みられる。	色彩等の基礎的な内容を分かりやすく学習するための練習問題を作成し、いつでも取り組めるようにGoogle クラスルームに保存しておく。
保健体育	アンケートの結果から、どの学年も評価方法について理解していない生徒が若干名いることがわかった。また、授業へ主体的に取り組んでいないと考えている生徒が一定数いることが分かった。	各単元において授業のねらいや評価方法について生徒が分かるように提示していくようにする。また、生徒が主体的に活動できるようにタブレット端末を活用し、生徒が取り組むべき課題や目標を明確にする。
技術・家庭	家庭科はアンケートから栄養素や洗濯表示を覚えるのが難しい生徒が若干いた。 技術分野では、授業のねらいや評価が明確に伝わっていない生徒が一定数いることが分かった。	家庭科では、現在行っている小テストをより充実させる。 技術分野では授業の導入部でねらいを明確に提示し、課題に取り組む前に評価を明示する。
英語	「評価方法について理解していない」と感じている生徒がどの学年にもいる。また、「与えられた課題に取り組んでいない」生徒も一定数いる。	単元の最初で、ゴールを示す。テストを実施する場合は、評価方法について確実に説明をする。また、学期終わりに、今学期の成績の付け方を改めて伝える。その際、課題の大切さを伝える。